

## 第7回 JSDEI セミナー「糖尿病－口腔保健と栄養の推進セミナー」開催概要

### 1. 名称

第7回 JSDEI セミナー (JSDEI : Joslin-Sunstar Diabetes Education Initiative)  
糖尿病、口腔保健と栄養の推進セミナー  
「明日からの糖尿病予防・療養支援に向けて、チーム医療の観点から」

### 2. 主催

一般財団法人サンスター財団  
ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター

### 3. 後援 (申請中を含む)

厚生労働省、(公社)日本医師会、(公社)日本歯科医師会、(公財)8020推進財団、日本糖尿病対策推進会議、(一社)日本糖尿病学会、(NPO)日本歯周病学会、(NPO)日本臨床歯周病学会、(一社)日本口腔衛生学会、(公社)日本産業衛生学会、東京都、(公社)東京都医師会、(公社)東京都歯科医師会、東京都糖尿病対策推進会議、(公社)東京都栄養士会、(NPO)西東京臨床糖尿病研究会

### 4. 協賛

サンスター株式会社

### 5. 開催日時

平成27年7月26日(日曜日) 10時30分～17時10分(昼食付)

### 6. 開催場所

虎ノ門ヒルズフォーラム  
東京都港区虎ノ門1-23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー5階

### 7. 参加対象・参加費

医師、歯科医師、栄養士、薬剤師・保健師・看護師、歯科衛生士他(500名を予定)  
参加費 無料

### 8. プログラム

医科学、歯学等の領域から下記専門家を招聘し、最先端の知見にもとづいた講演を行います。(詳細プログラムは別紙)

#### ◆医科学

George L. King	先生	ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター
William C. Hsu	先生	ハーバード大学医学部附属ジョスリン糖尿病センター
門脇 孝	先生	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科
津下 一代	先生	あいち健康の森健康科学総合センター
松久 宗英	先生	徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター

#### ◆歯科学

和泉 雄一	先生	東京医科歯科大学大学院
-------	----	-------------

医歯学総合研究科歯周病学分野  
永田 俊彦 先生 徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部  
歯周歯内治療学分野

◆医療保険制度関係

赤塚 俊昭 氏 健康保険組合連合会  
鳥山 佳則 氏 厚生労働省 医政局 歯科保険課

◆パネルディスカッション司会

柏木 厚典 先生 社会医療法人誠光会 草津総合病院理事長  
和泉 雄一 先生 東京医科歯科大学大学院  
医歯学総合研究科歯周病学分野

## 9. 告知

事前募集告知チラシ・ポスター及び本財団ホームページ告知紙面等にて表示

## 10. 事務局

■運営事務局（運營業務委託先）

事務局名：第7回JSDEIセミナー運営事務局（佐々木・鎌田）  
開設期間：2015年3月2日（月）～2015年7月31日（金）  
平日 10:00～18:00（土・日・祝日を除く）

住 所：〒150-0031

東京都渋谷区桜ヶ丘町2-3 富士商事ビル606号室

電話番号：03-6416-1141

E-mail：[sunstar@jsdei-seminar.jp](mailto:sunstar@jsdei-seminar.jp)

■事務局

一般財団法人 サンスター財団事務局

住 所：〒569-1134

大阪府高槻市朝日町3番1号

電話番号：072-682-7298

Fax：072-681-0359

## 11. お問い合わせ先

■応募・申込等に関するお問合せは、上記の運営事務局までお願いします。

以上

## 別紙 プログラム

時間	タイトル	演者	所属
10:30-10:35	開会の辞	George L. King	Harvard Medical School, Joslin Diabetes Center
<b>&lt;基調講演&gt;</b>			
10:35-11:10	糖尿病合併症の最新情報 ：歯周病、骨粗しょう症、認知症他	George L. King	Harvard Medical School, Joslin Diabetes Center
<b>&lt;第一部&gt; 「糖尿病予防、歯周病予防の最新情報および新しい展望」</b>			
11:10-11:35	歯科・医科医療費の相関分析 －歯の健康が身体の健康を支える	赤塚 俊昭	健康保険組合連合会
11:35-12:00	ジョスリン糖尿病センターにおける患者エンゲージメントの 取組み	William C. Hsu	Harvard Medical School, Joslin Diabetes Center
昼食休憩（70分）			
13:10-13:35	口腔と全身：今後さらに重要となる歯周病予防と治療	和泉 雄一	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 歯周病学分野
13:35-14:00	近未来の糖尿病予防戦略	門脇 孝	東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・ 代謝内科
<b>&lt;第一部 Q&amp;A&gt; (30分)</b>			
<b>&lt;第二部&gt; 「糖尿病予防、治療を目指したチーム医療および地域連携」</b>			
14:30-14:55	特定保健指導の到達点と課題	津下 一代	あいち健康の森健康科学総合センター
14:55-15:20	糖尿病予防および治療における課題と口腔ケアの役割	鳥山 佳則	厚生労働省 医政局 歯科保健課
15:20-15:45	チーム医療の実践：歯科の立場から	永田 俊彦	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究 部 歯周歯内治療学分野
15:45-16:10	チーム医療の実践：医科の立場から	松久 宗英	徳島大学糖尿病臨床・研究開発センター
休憩（10分）			
<b>&lt;第三部&gt; 「パネルディスカッション：医科、歯科、チーム医療の将来展望について」</b>			
16:20-17:05	医科、歯科、チーム医療の将来展望について	司会) 柏木 厚典、和泉 雄一	
17:05-17:10	閉会の辞	本田 孔士	サンスター財団

## 第7回JSDEIセミナー 糖尿病、口腔保健と栄養の推進セミナー

～明日からの糖尿病予防・療養支援に向けて、チーム医療の観点から～

講演タイトル	講師	講演要旨
<b>&lt;基調講演&gt;</b>		
糖尿病合併症の最新情報: 歯周病、骨粗しょう症、認知症を含む	George L. King 先生	糖尿病における血管障害は、先進国における網膜症、腎障害、脳卒中、心臓病の主な要因である。これらのよく知られている合併症に加え、糖尿病は歯周病、骨粗鬆症、認知症のリスクを増大させることが明らかになってきた。多くの合併症研究は高血糖による直接的な影響に焦点をあてているが、高血糖の内因性保護因子阻害作用によるケースにも考慮した治療戦略を考える必要がある。
<b>&lt;第一部&gt; 「糖尿病予防、歯周病予防の最新情報および新しい展望」</b>		
歯科・医科医療費の相関分析 — 歯の健康が体の健康を支える	赤塚 俊昭 先生	近年、未病や軽度の体調不良が原因で労働生産性が低下することを、プレゼンティーズム・スコアという指標を用いて、具体的なデータで示すことが可能となった。本講演では、ある企業のレセプト情報とカルテなど、蓄積されている情報を用いて歯科と医科の医療費の分析を行い、歯の健康が体の健康とどのように関係するのかを示す。
ジョスリン糖尿病センターにおける患者エンゲージメントの取り組み	William C. Hsu 先生	糖尿病治療において、患者を中心としたチーム医療が重要である。最近では、メールによる患者との繋がりも多くなっており、患者の治療を励まし、悩みを速やかに解決することが、治療に奏功することがわかっている。また、栄養指導を通じた患者とのコミュニケーションは、患者を知る重要な時間であり、できるだけ時間を割くことが望まれる。本講演では、ジョスリン糖尿病センターで行っている患者との繋がり方についてお話するとともに、食事の質の重要性についても言及したい。
口腔と全身: 今後さらに重要となる歯周病予防と治療	和泉 雄一 先生	ヘルスケアにおける虚空と全身の関連性が科学的に追及され、歯周病が糖尿病、循環器疾患呼吸器疾患といった生活習慣病に密接に関わっていることが報告されている。歯周治療を行うことにより、虚空の慢性炎症を軽減し、全身の健康増進に深く関与することが注目されている。今講演では、最新の歯周治療について紹介しながら、これらの点について言及したい。
近未来の糖尿病予防戦略	門脇 孝 先生	糖尿病は1,000万人近い患者数とさまざまな合併症の問題から21世紀の国民病と呼ばれている。合併症の研究や基礎研究の進歩により、様々なことが明らかになりつつある。例えば、薬物治療では、DPP-4阻害薬に加え、SGLT2阻害薬が登場するなど選択肢が増え、エビデンスが蓄積されつつある。近い将来はゲノム創薬・エピゲノム創薬、オーダーメイド医療やiPS細胞を用いた再生医療の応用などが期待される。本講演では、DREAMSプランに盛り込まれている、糖尿病予防に焦点をあてて述べたい。個人に最適化可能な食事・運動などに関する生活習慣改善プログラムを開発し、これを糖尿病患者のみならず国民全体に広く普及させることにより、我が国における糖尿病・メタボリックシンドロームの発症を予防することが望まれている。
<b>&lt;第二部&gt; 「糖尿病予防、治療を目指したチーム医療および地域連携」</b>		
特定保健指導の到達点と課題	津下 一代 先生	特定健診・特定保健指導制度は、メタボリックシンドローム (MetS) に着目して行動変容を促す保健指導プログラムを実施することのほか、健診データを電子的に集約・分析可能なシステムを構築したことが特徴である。制度開始より7年を経て、その効果分析が進んでいる。一方、特定健診項目に含まれていない疾患等への対策が進みにくいこと、特定保健指導の対象とならない非肥満者や服薬中の対象者への対策について検討が必要である。本セミナーでは口腔保健と肥満等の生活習慣病に対する当センターの取り組みを紹介したい。今後、科学的なエビデンスをさらに積み重ねて保健事業の効果を検証していくこと、チーム医療、予防と医療の連携による体制づくり等について検討していく必要がある。
糖尿病予防および治療における課題と口腔ケアの役割	鳥山 佳則 先生	特定健診・特定保健指導が始まり、医療費(直接的費用)は増加も減少も混在する現状であるが、長期的な減少効果は期待できる。そのためには健康の価値への認知が指導によって高まることが重要である。一方、特定保健指導で広範な対象者の情報が蓄積されていくことの学術的な意義も大きい。短期の医療費の動きだけに囚われることなく、長期的な視点でこの情報を活用することも必要である。
チーム医療の実践: 歯科の立場から	永田 俊彦 先生	糖尿病と歯周病が双方向に関係し合うことが認識されるようになっており、医科と歯科が連携して糖尿病患者を治療すべく、両者の連携が加速している。本講演では、歯周病とは何か、糖尿病患者の歯周病の特徴について概説するとともに、徳島県における医科歯科連携の一例についてもふれてみたい。
チーム医療の実践: 医科の立場から	松久 宗英 先生	徳島県では、歯科を受診した患者の血糖値を測定する試みなどが始まり、特定の患者を医科歯科両サイドから見たケースが集まりつつある。また徳島大学では医科歯科の双方から患者を紹介しあうことが行われており、今後連携は更に深まるものと思われる。また、病院と診療所、そして歯科医院との連携も始まりつつある。本講演では、徳島県の医科歯科、チーム医療の実施例をご紹介します。
<b>&lt;第三部&gt; 「パネルディスカッション: 医科、歯科、チーム医療の将来展望について」</b>		
医科、歯科、チーム医療の将来展望について	(司会) 柏木 厚典 先生、和泉 雄一先生	各講演に対する質疑応答と、それぞれの講演内容に沿ったパネルディスカッションを行う。現在の医科歯科連携、チーム医療の課題を浮き彫りにするとともに、今後の取組みについて提言を行う。